11　的確に伝えるために［表現］

　文章の目的は、自分が言いたいことを読み手に的確に伝えることです。そのために、表現では次のことに注意してください。

①述べる順序に気をつける

　＊全体のことを述べてから細部のことへ

　＊結論や重要なことからその説明へ

　＊予備知識を述べてから専門的な内容へ

②あいまいな表現をしない

　例えば、「男性は涙を流しながら去る女性を追った」の場合、泣いているのは、男性と女性のどちらでしょうか。「女性が涙を流しながら去る」意味にも、「男性が涙を流しながら追う」意味にも解釈できます。

③必要以上に硬い言葉や耳慣れない言葉、回りくどい表現を避ける

　例えば、「とてもできない」と言えばよいのに、「実行は絶対に不可能である」とか、「できると考えることは難しいと思われる」などと述べるのは、読者にとってわかりにくいだけです。

あいまいな表現

①係り受け関係があいまいな場合

　例　偉大な王の息子が即位した。（偉大なのが王なのか、息子なのか？）

　＊読点を打つ、語順を替える、言葉を補うなどの手当てが必要。

②主体・客体の関係があいまいな場合

　例　兄は今、盲腸の手術をしている。（兄は医者か、患者か？）

　＊文脈で意味が判断できない場合には、言葉を補って説明することが必要。

わかりにくい言い回し

①堅苦しい表現

　例　貴殿にはますますご壮健の模様、

　　　　　　↓

　　　あなたはますますお元気のようで、

②耳慣れない語を使った表現

　例　会議のアジェンダ→会議の議題

③回りくどい表現

　例　それをすることによって全員が救助されるという作戦が開始された。

　　　　　　↓

　　　全員を救助するための作戦が開始された。

レッスン１　次のそれぞれＡ～Ｃを述べるとき、読み手に最も的確に伝えられる順序になるように（　　）に１～３の番号を書きなさい。

⑴　Ａ（　　　）　手で作る形は三種あり、石、ハサミ、紙を表している。

　　Ｂ（　　　）　じゃんけんは、二人以上が向き合い、手で作った形をかけ声に合わせて出して、勝者と敗者を決めるものである。

　　Ｃ（　　　）　石はハサミに勝ち、ハサミは紙に勝ち、紙は石に勝つのがルールである。

⑵　Ａ（　　　）　皮の堅い層がやわらかい芽を包むことで、冬の寒さから芽を守っているのだ。

　　Ｂ（　　　）　例えば、桜の場合、芽は魚のウロコのような皮を何枚もかぶっている。

　　Ｃ（　　　）　秋にできた植物の芽は、冬を越せるように寒さを防ぐ特別なしくみを持っている。

レッスン２　次の各文は二通りの意味に解釈できます。一方の意味だけに解釈されるように、例にならって、Ａ・Ｂに書き直しなさい。

　例　彼は出かけていなかった。

　Ａ　彼は出かけていて、いなかった。　　Ｂ　彼はまだ出かけていなかった。

⑴　山田さんと田中さんの家を訪ねた。

　Ａ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］　　Ｂ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑵　私は黙って仕事をしている老人を見つめていた。

　Ａ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］　　Ｂ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

　ヒント　⑵「黙って」いるのはだれか。

レッスン３　次の各文を言葉の順序に着目して、例にならって、よりわかりやすい表現になるように書き改めなさい。

　例　友達にあげた美しく咲いている花がある。→友達にあげた花が美しく咲いている。

⑴　法師によって語られ、後世の文学に大きな影響を『物語』は与えた。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

⑵　開館時間を変更したので、利用する人が図書館はそれまでの二割増しになった。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

　ヒント　それぞれ何について述べたものか。その話題を文頭にもってくるとよい。

【解答】

レッスン１

　⑴Ａ２　Ｂ１　Ｃ３

　⑵Ａ３　Ｂ２　Ｃ１

レッスン２

　⑴Ａ山田さんと一緒に、田中さんの家を訪ねた。

　　Ｂ山田さんの家と田中さんの家とを訪ねた。

　⑵Ａ黙って仕事をしている老人を、私は見つめていた。

　　Ｂ仕事をしている老人を、私は黙って見つめていた。

レッスン３

　⑴『平家物語』は、琵琶法師によって語られ、後世の文学に大きな影響を与えた。

　⑵図書館は、開館時間を変更したので、利用する人がそれまでの二割増しになった。